

特別支援教育の特色

校内の児童・生徒に対する支援

校内支援

特別な支援を必要とする児童・生徒に対し、校内委員会を設置し、以下の内容について全校的な支援体制がとれるようにすすめています。

- ◎特別な支援を必要とする児童・生徒の実態を把握する
- ◎児童・生徒の指導や対応の工夫を検討し、支援する
- ◎必要に応じて、家庭や外部専門機関との連携を図る
- ◎必要に応じて研修を企画する

本校の特色

各ブロックにコーディネーターを配置し、各期の校内委員会で定例の情報共有を実施しています。その上で、全体支援会議で取りまとめる形をとり、切れ目のない、児童・生徒一人一人に届く支援を実現しています。必要に応じて、特別支援学校のセンター的機能の活用について、コーディネーターが連絡調整をすすめています。

<全体支援会議>

コーディネーターⅠ <第Ⅰ期校内委員会>

コーディネーターⅡ <第Ⅱ期校内委員会>

コーディネーターⅢ <第Ⅲ期校内委員会>

Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期校内委員会組織 学年から1名、コーディネーターⅠⅡⅢ、管理職、養護教諭、生活指導部、SC、特別支援教室専門員、SSW、(チーフコーディネーター)

副籍交流

学区域に住む都立特別支援学校に在籍する児童・生徒と直接・間接の交流を推進しています。

特別支援学級(6組)

6組について

◇6組は、知的固定の特別支援学級で、知的な発達がゆっくりで、通常の学級における学習では十分に効果を上げることが難しい児童・生徒を対象としています。

◇児童・生徒に対し、特別な配慮のもと、その能力や個性に応じて適切な教育が受けられるよう設置された学級です。

◇児童・生徒一人一人が、今も卒業後の人生も、生き生きと自信をもって活躍できるよう、必要となる力を一つ一つスモールステップで、身に付けていきます。

学級の特色について

*一人一人の能力、個性に応じた学習を、教科等や単元に応じて、小集団を中心とした様々なグループ編成で行います。

*教科等については、国語、算数(数学)などの教科に加え、「日常生活」や「生活単元」といった教科もあり、「調理」や「身辺自立」、「基本的な社会ルール」などについても学習し、将来の自立した生活に必要な力を身に付けます。

*コミュニケーション能力や社会性を育むこと重視し、児童・生徒相互の関わる機会を意図的に設け、児童・生徒の実態に合わせた交流を計画的に進めます。

*異学年で同じ学級に在籍することで、上級生が下級生の面倒を見ることで豊かな感情を育み、下級生が上級生をモデルとして具体的な目標をもって頑張ることを通して、将来の自立及び就労に向けた力を着実に身に付けていきます。

拠点校としての特色

きこえとことばの教室、きこえの学級

きこえとことばの教室(1～6年生対象)、きこえの学級(7～9年生対象)について

◇きこえやことばに心配があり、本来の力を伸ばしきれない児童・生徒、困難を感じている児童・生徒に対し、きこえやことばの問題を改善して学校生活・社会生活への適応を図るように指導しています。

◇きこえとことばの教室ときこえの学級は通級による指導体制となっています。

現在通っている学校に在籍したままで、週に1～2回決められた時間に、きこえとことばの教室、きこえの学級に通って指導を受けています。(きこえについては、学期に1～3回程度、「きこえ」全般にかかわる相談や聴力測定を受ける定期指導も行っています。)

◇1回の指導時間は45～90分程度で個別指導が中心です。(様子によりグループ指導を実施しています。)

指導内容について

◇話し方にこだわらず思ったことを話し、伸び伸びと自己表現できるようにします。

◇正しい音の聞き分けや発語器官機能を促進し、正しい発音ができるようにします。

◇片耳の難聴についても定期的に聴力を確かめ、学校・家庭の中での配慮の仕方を確認します。

◇ことばの理解力・表現力を高めます。

◇ことばの流暢性を高めます。

◇児童・生徒の課題に対する理解を深め、言語環境を整えるために保護者と指導方針について協議します。

◇効果的な指導のために在籍学級を訪問したり、在籍学級担任と連絡を取り合ったりして、連携を図ります。

特別支援教室(ほがらか・フレンズ)

通常の学級での学習に概ね参加でき、一部特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、週1回程度、課題や障害の特性に応じた特別な指導を行う教室。具体的に対象となる児童・生徒の次のような特性に対して支援を行います。

- ・生活面 「コミュニケーションがうまくとれていない」
「時間や持ち物の管理が苦手」
「こだわりが強い」「状況に合わせた言動が苦手」
「落ち着きがない」
「気持ちのコントロールが苦手」 など
- ・学習面 「学習が積み上がらない」「学習方法がわからない」
「読む・書く・話す・聞くなどの活動で著しい苦手さが見られる」 など

※市内共通の就学相談調整会議を経て、以下の教室による支援を行っています。

- ・1～6年生 由井第一小学校を拠点校とした「ほがらか」教室の巡回指導
- ・7～9年生 本校を拠点校とした「フレンズ」教室の指導